



# 優しい里だより

令和元(2019)年9月20日  
第11号

## 新理事長就任挨拶

このたび、八谷理事長の後任として、理事会のご推挙により優里の会の理事長に選任されました黒田信子です。

私は、児童相談所職員として長い間、子どもの福祉を守る仕事を行ってきました。多くの相談の中に、虐待や保護者の病気等で実親と暮らせない子どもがいました。そんな子どもたちの最善の利益を考えて、処遇を決めていました。

当法人は、平成25年に児童相談所に勤務していた者と、医療や司法等で児童福祉に関わっていた者が中心となって立ち上げた NPO 法人です。「すべての子どもに温かな家庭を、将来に向かって夢を描ける力を」をミッションに、里親制度の啓発と里親・里子の支援を行っています。

里親さんは、養育時から自立、またその後も家族として関わっていかれます。そのため、里子たちへも養育時から自立まで、途切れないシームレスな支援が必要です。

国は、「家庭養育優先原則」を打ち出しています。社会的養護はできる限り家庭的な養育環境の中で、特定の大人との継続的で安定



した愛着関係の下で行われる必要があると述べています。

その実現のために、里親制度が地域で理解・支援され、里親となる家族が増え、新しい家族が必要な子どもに提供されるために、リクルートから研修、マッチング、いつでも相談できる体制を作って支援していきます。

私たち NPO 法人優里の会は、子どもが安定し安全な環境で養育され、社会的に自立ができるよう支援を続けていきます。これは1つの法人だけでできることではありません。地域の中で多くの機関、人とつながって、NPO 法人だからできる支援を実行し、子どもの福祉を守っていきます。

どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

## 社会ボランティア賞表彰式



### 国際ソロプチミストわかば表彰式

令和元年6月6日、国際ソロプチミスト熊本わかば様より「社会ボランティア賞」をいただきました。

国際ソロプチミスト様は、世界132の国・地域に75000人の会員を擁し、2021年に100周

年を迎える伝統と歴史のある女性の国際ボランティア組織です。社会的・経済的支援をもたらすプログラムを通じて、女性と女兒の生活向上を目指して活動をされています。

当日は、熊本市中央区出水のマリーグレースにてチャリティーランチ&講演会を開催され、安楽会長の挨拶に続き、地域社会のニーズに合ったボランティア活動を行っている方を称える日本財団「社会ボランティア賞」のクラブ賞を、里親制度の普及啓発と養育支援活動を行っている当法人が表彰を受けました。これまでの当法人の取り組みを評価していただき「今後もより一層子どもたちのために新しい里親さんを探し、里親の輪を広げていきたい」と決意を新たにさせていただきました。

## 里親さんの声

今回は、養育里親の西尾（にしお）さんの体験談をご紹介します。西尾さんは、現在才3の子どもさんを養育されています。

### ～里親を始めるきっかけ～

私は、約20年前奈良県に住んでおり、友人2人が里親をしていたことで里親のことを知りました。私は天理教を信仰しており、天理教では里親をされている方が多く、この2人の友人は養育里親をされていて、「実子がいるのにさらに里子も育ててすごいなあ。」とっていました。平成21年に熊本県に引っ越して、近くの天理教の方も養育里親をされており、その方に里親になることを勧められました。

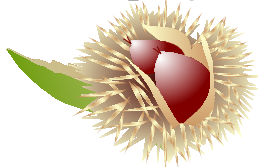
その時は引っ越して来たばかりで、生活が落ち着いていなかったことや実子が4人いて下の子が小学校低学年で、里子をしっかりと養育する自信がなかったのも、里親になるのは無理とっていました。しかし、信仰的な考えから困っている人に助かっていただきたい、その手伝いをさせていただけたらとっていました。子どもの虐待など痛ましいニュースを見るたびに私もお手伝いできないかと思っていました。

熊本の生活にも慣れ、実子も大きくなり、平成27年主人から「養育里親をやろう！」と言われ、すぐに児童相談所へ行きました。

### ～子どもとの暮らし～

里子が来てすぐは落ち着かないのか、常に私の側に来て一人で遊ぶこともできず私はかなり疲れた時がありました。そんな時、近くにある「子どもプラザすくすく」に出かけました。子どもは安心して遊ぶことができ、係の方と話をして悩みを聞いてもらうことでスッキリすることができました。夜はなかなか寝てくれず主人と交代しながら寝かせました。

試し行動を心配しましたが、心配した程はありませんでした。あらかじめ薬などは手の届かない高い所に置いていましたが、里子は椅子を持って行き机に上がり、薬を取り出して自分の顔や頭に塗ったり、テレビにもめったりしました。子どものするいたずらくらいに思っていました。後から考えるとこれが試し行動だったのかと思いました。



### ～心がけていること、気づいたこと～

里子はまだ小さいので理解できるのかわかりませんが、真実告知はそろそろだと考えています。繰り返し伝えていくことが大切だと考えています。反抗期も覚悟しています。実子の時は、不登校や反抗期を経験しました。誰もが通る道だと思っています。

ただ、奈良県で寮生活をしている高校生の息子に、私の姉が「里子が来てからどう？」と尋ねたら、「少し寂しい」と答えたそうです。離れて暮らしているし、もう高校生だからと思っていたのですが、私が里子にかかりきりなので寂しさを感じていることに驚きました。実子へのフォローの大切さを感じました。

里親として子どもを育てることは、家族が一丸となることが出来ます。何事も夫婦で常に相談し、助け合っています。歯みがきや散歩など娘にも協力してもらっています。また、里子を通して世界が広がり、人とのつながりも広がります。



### ～里親に関心のある方へのメッセージ～

登録するまでの研修や実習は少し大変でした。委託を受けるまでのマッチングも大変でした。マッチング中、施設の方がいろいろ相談にのってくださり、児童相談所からも困った時はいつでも相談してほしいと言われ安心しました。それでも、私の父にマッチングの大変さを話した時に、「それは産みの苦しみだと思って。」と言われました。確かに、子どもが生まれるまでは大変な思いをします。その経験はその後の子育てに必要なことだと思います。苦労があるからこそ喜びも大きく感じられるのではないのでしょうか。

今この時にも適切な養育を受けることができず辛い思いをしている子どもがたくさんいるのではないかと思います。胸が締め付けられます。里親になっていただける方が増えると、子どもの笑顔を増やすことができます。里親が増えていくことを切に望みます。

## 里親制度の普及啓発

### 定期講演会を開催

6月21日に、講演会「里親になってみつけた宝物」を開催しました。講師にお招きした岩崎勝稔さんは、バルセロナ五輪で金メダルをとった岩崎恭子さんのお父様で、現在静岡県で養育里親として3人の里子さんを養育されています。

当日は予定を上回る99名の参加者の方にお越しいただき、岩崎さんのお話に熱心に耳を



講演中の岩崎勝稔さん

### 子育て座談会を開催

7月21日(日)、八代市にて子育て座談会を開催しました。これから里親になろうという方や子どもに関わる職業の方、現役の里親さんなど13名の方にお越しいただき、お2人の里親さんの養育体験談を大変興味深く聴いておられました。

また、9月7日(土)には、熊本市西区、9月21日(土)には、嘉島町でも開催させていただきました。

傾けられ、後半の質疑応答では多くの方に質問や感想を述べていただきました。

講演会後のアンケートにも、「岩崎さんの子育てに対する前向きな考え方に感動した」「実際に里親さんをされている方ならではの本音や考えを聞いて勉強になった」という声が多く挙がり、岩崎さんの温かい人柄あふれる講演となりました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。



当日はたくさんの方のご参加がありました

### パネル展を開催

6月8日(土):イオン八代、9月7日(土)イオンモール熊本にて里親制度啓発パネル展を開催しました。熱心にお話を聴いてくださる方も多く、今回のパネル展をきっかけに、更に里親制度への理解や関心が広がると嬉しく思います。

## 里親養育の支援活動

### 新規登録のための研修

優里の会では熊本県から委託を受け、里親登録を希望される方に向けての研修を実施しています。今年度は7月7日(日)と8月8



八代市での子育て座談会の様子



イオン八代でのパネル展の様子

### 専門里親更新研修

第1回目を7月17日(水)に実施しました。熊本県警察本部の見学では、110番通

日(木)に中央児童相談所で行いました。希望者は9名程度と少なめでしたが、皆さん熱心に受講していただきました。

報の仕組みや交通状況のモニターなどを見学しました。講話では近年の非行の現状を教えていただきました。スマホの使い方など、子

子どもを守るために大人側も勉強が必要だと痛感した内容でした。

午後からはフォスタリングチェンジと事例検討を通して、皆さんに積極的に参加していただきました。



熊本県警察本部での研修の様子



午後からの研修の様子

本年度の里親制度の普及啓発事業は、里親フォーラムと熊本市内の子育て座談会を除き、日本財団の助成を受けて行っております。

## お知らせ

### 【里親フォーラムを開催します】



10月14日(月・祝)午後2時より、ウエルパルクまもと1階にて、里親フォーラム「かぞくのかたち」を開催します。今年のテーマは「児童虐待と里親養育」です。

児童虐待の現状や、それに伴う里親養育の必要性について考えます。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

### 【子育て座談会を開催します】

今年度の開催は下記のとおりです。

- ① 9月21日(土) 午後2時～  
嘉島町民会館
- ② 11月10日(日) 午前10時～  
男女共同参画センターはあもにい
- ③ 11月30日(土) 午後2時～  
御船町カルチャーセンター
- ④ 1月18日(土) 午前10時～  
植木公民館
- ⑤ 2月(日時未定) 菊陽町

いずれの会場も託児あります。事前のお申し込みが必要です。

### 【里親ガイドブックを差し上げます】

里親制度に関心のある方や、里親のことについてもっと詳しくお知りになりたい方のために、「里親になりたい人へのガイドブック」を作成しました。

ご希望の方は無料で差し上げます。当法人までご連絡ください。

### 【ご支援をお願いします！】

昨年度も皆様のご支援のお陰で【賛助会員】が100名を超えました。

これからも多くの会員の皆様にご支援をいただき、より充実した活動ができるように努力していきたいと考えております。

今年度も皆様には賛助会員としてのご支援をよろしくお願いいたします！

継続していただける方は、以下の振込先に年会費 3,000 円以上のお振り込みをお願いします。

#### 【会費のお振込先】

名義：特定非営利活動法人優里の会  
「トクヒ）ユウリノカイ」

・肥後銀行 神水(クミズ)支店  
普通 1499683

・ゆうちょ銀行(郵便局)

記号番号 17120-36889851

※郵便局のATMを利用した、ゆうちょ口座間の振り替えは月1回まで無料です。

ぜひ、ご利用ください。

発行：特定非営利活動法人優里の会 〒862-0910 熊本市東区健軍本町1-22 東部ハイツ101号  
TEL 070-5485-8365 FAX 096-202-4274 E-mail: yuurinokai@yahoo.co.jp  
URL <https://yuurinokai.com> 「優里の会」で検索 Facebook・Instagramもあります